



《岩波少年文庫創刊 70 周年記念 ナルニア国特別企画》



## 手の中に無限の冒険

### “岩波少年文庫 かくれた名作ブッククラブ 第2弾”

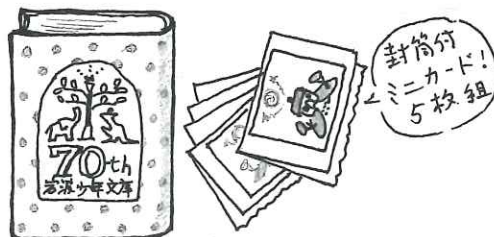
1950年、戦後間もない時期に、日本の子どもたちへ海外のすぐれた文学作品を手渡すことを意図して創刊された“岩波少年文庫”は2020年に70周年を迎えました。ナルニア国では2020年4月から店内ミニフェアや原画展などの企画で1年間、少年文庫の紹介を続けてまいりましたが、ご好評につき今年も続いてブッククラブを新リストで延長することにいたしました！すぐれた子どもの本は大人の読者にも生きる力を与えてくれる—物語の力を信じるナルニア国のスタッフが自信をもっておススメする岩波少年文庫ブッククラブを、多くの方にお楽しみいただければ幸いです。



#### 岩波少年文庫創刊 70 周年フェア スタンプラリー延長決定！

2020年4月からスタートした“岩波少年文庫スタンプラリー”。ご好評につき、**2021年12月まで延長**することに決定いたしました！

ラリーに参加してスタンプを10個ためてくださった方には、スタッフ手作りの少年文庫サイズブックカバー（1枚）とちいさいうちミニカード（5枚組）をプレゼントいたします。



#### 【お知らせ・1】

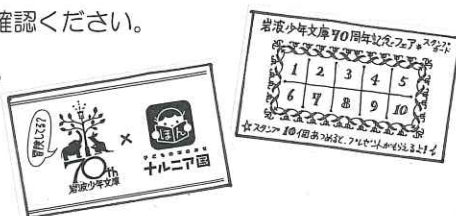
スタンプラリーはフェアの本に限りません。新刊・既刊本のご購入でも「ラリー参加希望」とカウンターでお声をおかけいただければ、どなたでもご参加いただけます。（期間：～2021年12月まで）

#### 《3月のみの特典！スタンプ倍付けキャンペーン》

3月中旬発売の『岩波少年文庫のあゆみ 1950-2020』（若菜晃子・編著）をご予約＆ご購入の方には、スタンプラリーのスタンプを特別に2個！お付けします。書籍の詳細は、岩波書店のホームページ

「やかましネットワーク No.61」でご確認ください。

★PDFファイルが公開されています。



#### 【お知らせ・2】

岩波少年文庫かくれた名作ブッククラブ・第2弾にご参加の方は、少年文庫70周年記念のロゴが入ったエコバッグを参加者全員にプレゼントいたします。



●岩波少年文庫ブッククラブをご希望の方は、下記にご記入の上ファックス・メール・店頭でご提出ください。

① 申込者氏名(フリガナ)	
② ご請求先住所	〒
③ 電話番号	
④ お届け先住所 ※②と違う場合のみお書きください	〒
⑤ その他ご希望など	
⑥ ブッククラブの本 (いずれかご希望の本に○をしてください) ※2冊の場合は両方に○	<p>4月の本：A『長い長いお医者さんの話』/B『はるかな国の兄弟』/長編</p> <p>6月の本：A『マルコヴァルドさんの四季』/B『みどりのゆび』/長編</p> <p>8月の本：A『八月の暑さのなかで』/B『ソウの鼻が長いわけ』/長編</p> <p>10月の本：A『おとうさんとぼく』/B『走れ、走って逃げろ』/長編</p> <p>12月の本：A『おとなりさんは魔女』/B『月曜日に来たふしぎな子』/長編</p> <p>2月の本：A『大力のワーニャ』/B『ぼく、デイヴィッド』/長編</p>

E-mail : narnia@kyobunkwan.co.jp / Fax : 03-3561-7350 (教文館ナルニア国直通)

《岩波少年文庫 2020年の新刊&復刊 と 今後のラインナップ(予定)》

2020年の新刊 『ベルリン3部作』 クラウス・コルドン作/酒寄進一訳

『チョウはなぜ飛ぶか』 日高敏隆著

『かじ屋と妖精たち イギリスの昔話』 脇明子 編訳

『インド神話』 沖田瑞穂 編訳 他

2020年の復刊 『真夜中のパーティ』(ピアス作) / 『お話を運んだ馬』(シンガー作)

限定

『空とぶベッドと魔法のほうき』(ノートン作) / 『農場にくらして』(アトリー作)

『けものたちのないしょ話』(君島久子編訳)

2021年の新刊3月 『岩波少年文庫のあゆみ 1950-2020』(若菜晃子編訳)

4月以降 『火の鳥ときつねのリシカーチェコの昔話』(木村有子編訳)



1950年のクリスマスに誕生し  
今日まで続いてきた少年文庫。その70年  
のあゆみをふりかえる初めての保存版。  
編集・執筆の若菜晃子さんが、過去の資料  
を読み解き、各時代に書かれた著名人の  
エッセイなども収録しながら、少年文庫  
の全容を明らかにしていきます。  
ご期待ください!

復刊は、キラキラ金箔の  
特装カバーのけだ  
豪華仕様です。今だけ!!

など。どうぞお楽しみに!

●ナルニア国のスタッフセレクト “岩波少年文庫 かくれた名作ブッククラブ・第2弾”

◆ブッククラブの内容 その1

	A	B
4月	長い長いお医者さんの話 (792円)	はるかな国の兄弟 (880円)
6月	マルコヴァルドさんの四季 (748円)	みどりのゆび (704円)
8月	八月の暑さのなかで (748円)	ソウの鼻が長いわけ (792円)
10月	おとうさんとぼく (880円)	走れ、走って逃げろ (792円)
12月	おとなりさんは魔女 (748円)	月曜日に来たふしぎな子 (704円)
2月	大力のワーニャ (792円)	ぼく、デイヴィッド (836円)

●決められた月の初めに1冊の本をお届けします

⇒AとB、2冊の候補からどちらか好きな本をお選びください。2冊でも構いません。

⇒リストからご希望の本だけお送りすることも可能です。スタッフにご相談ください。

【送料】1冊の場合はスマートレター(180円)で、2冊の場合はレターパックライト(370円)になります。

一括でお届けをご希望の場合は宅急便でのお届けとなります。ご相談ください。

※途中の月からでもご参加OKです。 ※最低6冊からお願いをしております。

※店頭での取り置きもお受けします。

※既にお持ちの本で変更をご希望の場合は、スタッフにご相談ください。

◆ブッククラブの内容 その2

	じっくり読みます! 長編コース
4月	あたしのクオレ 上・下 (1628円)
6月	ハックルベリー・フィンの冒険 上・下 (1672円)
8月	あらしの前・あらしのあと (1496円)
10月	少年キム 上・下 (1628円)
12月	北風のうしろの国 上・下 (1672円)
2月	王への手紙 上・下 (1848円)

●決められた月の初めに上下巻併せてお届けします。 ※上巻のみは不可

【送料】レターパックライト(370円)になります。

※途中の月からでもご参加OKです。 ※最低6冊(3か月分)からお願いをしております。

※店頭での取り置きもお受けします。

※既にお持ちの本で変更をご希望の場合は、スタッフにご相談ください。

●お客様のお好みに合わせて選書をする “ナルニア国スタッフにお任せコース”アリ! ご希望の方はお電話かメールにてお問い合わせください。(ご希望の本、お持ちの本などお伺いします)

★お支払い方法★

お申し込みいただきました方には、ブッククラブのご請求書(書籍代・送料含む、6回一括払)をお送りいたします。特典のプレゼント(エコバッグ)は6月か8月のいずれかでお送りの本に同送いたします。

★ブッククラブの書籍もスタンプラリー対象となります。

お申し込みや、ご不明な点がございましたら下記までお電話ください。

お問い合わせ : 03-3563-0730 (10時~20時) e-mail : [narnia@kyobunkwan.co.jp](mailto:narnia@kyobunkwan.co.jp) (24時間OK!)



**『長い長いお医者さんの話』**  
カレル・チャペック作／中野好夫訳  
720 円＋税

チェコの大作家カレル・チャペックの楽しい童話集。しんせつな町のお医者さんたちや、はたらき者の郵便屋さんが活躍するしゃれたおとぎ話 9 編を、兄ヨセフのゆかいな挿し絵が飾ります。

**『マルコヴァルドさんの四季』**  
イタロ・カルヴィーノ作／関口英子訳  
680 円＋税

自然を愛する敏感な心をもったマルコヴァルドさんが、都会のまんなかで、四季折々にくりひろげる物語。ちょっととぼけていて、どこどなく憂鬱そうなるマルコヴァルドさんとその家族のかもしれないユーモアは、暮らしをとりまく環境と心のバランスを失ってしまった現代人に、どんぴしゃり！ 文豪カルヴィーノの傑作を新訳で。

**『八月の暑さのなかで』**  
金原瑞人 編訳／ 680 円＋税

英米ホラー小説に精通した訳者自らが編んだアンソロジー。E. A. ポー、サキ、ロード・ダンセイニ、フレドリック・ブラウン、そしてロアルド・ダールなど、短編の名手たちによる怖くてクールな 13 話。全編新訳。

**『おとうさんとぼく』**  
e.o. プラウエン作／上田真而子訳  
800 円＋税

子煩悩でときおり大人げないほどムキになるおとうさんと、やんちゃな幼い息子。ふたりの日常を切りとったセリフのないコミックは、たまたまなくゆかいで温かい。ドイツ生まれのコミックの古典から 134 篇をセレクト。巻末に上田真而子氏による解説と、作者についてエーリヒ・ケストナーが書いたエッセイの抄訳を掲載する。

**『おとなりさんは魔女』**  
ジョン・エイキン作／猪熊葉子訳  
680 円＋税

一生たいくつしませんように……おくさんがそんな願いをかけたのがすべての始まりでした。アーミテージ一家では、週に一度、とんでもないことばかり起こります。庭がユニコーンだらけになったり、魔女がおとなりで幼稚園をひらいたり、幽霊の家庭教師があらわれたり、マークとハリエットの兄妹はおおわらわです。

**『大力のワーニャ』**  
オトフリート・プロイスラー作／大塚勇三訳  
720 円＋税

三人兄弟の末っ子でなまけもののワーニャに与えられた試練とは、七年間もかまの上で寝てくらすこと。ワーニャはたいへんな力を身につけ、とちゅうで人びとを苦しめる怪物や魔女とたたかいつつ、白い山々のかなたの国にあるという、皇帝の宮中を目標に旅をします。名手プロイスラーがロシアを舞台に描く、痛快冒険物語。

**『はるかな国の兄弟』**  
アストリッド・リンドグリーン作／大塚勇三訳  
800 円＋税

ヨナタンとカールの兄弟は、楽しい生活を期待しながら、はるかな国ナンギヤラにやってきた。しかし、2 人を待ちうけていたのは……。怪物カトラをあやつり村人を苦しめている黒の騎士テンギルを倒そうと、2 人は戦う決心をする。生と死、愛と憎しみ、正と邪との戦いを織り込みながら、勇敢な兄弟の姿を叙事詩風に描いた作品。

**『みどりのゆび』**  
モーリス・ドリュオン作／安藤次男訳  
640 円＋税

裕福に暮らすチト少年。お父さんが兵器を作る人だったことを知り、驚きます。じぶんが不思議な〈みどりのゆび〉をもっていることに気づいた少年は、町じゅうに花を咲かせます。チトってどれ？

**『ゾウの鼻が長いわけ』**  
ラドヤード・キプリング作／藤松玲子訳  
720 円＋税

なんでも知りたい年ごろのゾウくん。ワニに質問するつもりが鼻をかまれて、鼻がながくのびてしまいます。表題作のほか、ラクダにこぶがついたわけ、ネコが気ままに歩くわけなど、動物の特徴の由来を物語る 12 の楽しい空想話。『ジャングル・ブック』で有名なキプリングによる、遊び心全開のベッドタイム・ストーリーです。

**『走れ、走って逃げろ』**  
ウーリー・オルレブ作／母袋夏生訳  
720 円＋税

1942 年、ポーランド。ユダヤ人強制居住区で家族と生き別れになった少年スリリックは、壁の外に脱出したとき、まだ八歳だった。農村と森を放浪する生活は過酷そのもの。片腕と過去の記憶を失いながらも、少年は知恵と力をつくし、嵐の月日を生きぬく。実話にもとづく勇気と感動の物語。映画「ふたつの名前を持つ少年」原作。

**『月曜日に来たふしぎな子』**  
ジェームズ・リーブズ作／神宮輝夫訳  
640 円＋税

イギリスの有名な詩人による楽しいお話集。「月曜日に来たふしぎな子」のために大騒動にまきこまれるパン屋さん一家、腕はいいのに怠け癖のある「エルフィンストンの石工」の話、家付き妖精とのふれあいを描く「おばあさんと四つの音」など、6 編。

**『ぼく、デイヴィッド』**  
エリナー・ポーター作／中村妙子訳  
760 円＋税

山の上でともに暮らしていた大切な父親を失い、身元もわからないまま、農家のホリー夫妻のもとに引き取られたデイヴィッド。いつでも、どこでも、あらゆる想いをヴァイオリンで奏でる無邪気な少年が、周囲の人たちにとって、かけがえのない存在となっていくドラマを描く。『少女ボリアンナ』の作者による、もう一つの代表作。

**『あたしのクオレ』(上下巻)**  
ピアンカ・ピッツォルノ作／関口英子訳  
上：720 円＋税／下：760 円＋税

作家を夢見るプリスカと、親友のエリザ、ロザルバは 4 年 D 組のなかよし三人組。新しい担任のスフォルツァ先生が、貧しい家庭の生徒をひどく差別するのに憤った三人は、あの手この手で戦いを挑みますが……。怒り、悔しさ、そして憧れ。女の子のリアルな目線で、十か月の熱い日々を描いた、イタリア人気作家の代表作長編。

**『ハックルベリー・フィンの冒険』(上下巻)**  
マーク・トウェイン作／千葉茂樹訳  
上：760 円＋税／下：760 円＋税

19 世紀、南北戦争以前のアメリカ南部。気ままに生きる少年ハックルベリー・フィン、トム・ソーヤーとの冒険のあとで大金を手に入れたものの、未亡人に引き取られてかたくならしい生活を送っていた。そこへ金を目当てに飲んだくれの父親があらわれ、ハックは黒人奴隷のジムとともに、筏でミシシッピ川をくだる冒険の旅に出る。

**『あらしの前』**  
ドラ・ド・ヨンク作／吉野源三郎訳／680 円＋税

オランダの片田舎に住むファン・オルト家では、医者のお父さん、赤ちゃんを産んだばかりのお母さんのもと、5 人のきょうだいが、平和で温かく楽しい生活を送っていました。ところが突然のナチス・ドイツ軍の侵入。恐ろしい戦争のなかで、信頼と愛情で結ばれていた家庭はどうなったのでしょうか。戦後児童文学の名作。(改訂版)

**『少年キム』(上下巻)**  
ラドヤード・キプリング作／三辺律子訳  
上：760 円＋税／下：720 円＋税

舞台は十九世紀、英領インド。イギリス人の孤児キムは、チベットからきたラマと〈矢の川〉を探る旅に出る。やがて才能を見出されて、優秀なスパイとして育てられたキムは、大国の覇権争いのただなかに身を投じるが……。天才キプリングが少年の数奇な運命を描き、インドの豊かな風景と多彩な人びとを活写した、大河冒険小説。(黒田疏黄・画)

**『北風のうしろの国』(上下巻)**  
ジョージ・マクドナルド作／脇明子訳  
上：760 円＋税／下：760 円＋税

御者の息子ダイヤモンドは、美しい女性の姿をした北風に抱かれ、夜のロンドンの空や、嵐の海を駆けめぐる。そして北風のうしろにある不思議な世界へ。もどってきた幼い少年は、そこで聞いた楽しい川の流れを口ずさみながら、貧しい暮らしにあえぐ家族や友人を助け励まし続けるのだった。イギリスファンタジーの名作を新訳で。

**『王への手紙』(上下巻)**  
トンケ・ドラフト作／西村由美訳  
上：840 円＋税／下：840 円＋税

騎士になるための最後の試練の夜に、思いがけず重大な使命を与えられた少年ティウリは、隣国へと旅立つ。謎めいた隠者、陰険なスパイ……手に汗にぎる、オランダの人気冒険小説。

もやもやした思いを日々胸に抱えて生きている読者(子ども)は、プリスカたちの小気味よい戦いに胸のすく思いをし、物語のとりことなるのです。(訳者のあとがきより)

Illustration©Ryo Honda 2017

『あらしのあと』  
ドラ・ド・ヨンク作／吉野源三郎訳／680 円＋税

『あらしの前』から 6 年がたち、戦争は終わりました。ドイツ軍がオランダを占領している間、オルト家の子どもたちもつらい毎日を送りましたが、深い心の傷を乗り越え、新たな出発をするために、とまどいながらも前に進みはじめます。すると、少しずつ希望の光がさし、道がひらかれていくのでした。[解説・斎藤惇夫]

『少年キム』  
ラドヤード・キプリング作／三辺律子訳

一筋縄でいかず、雑多で、多様で、狼狽にすら思えるインドですが、(中略)それがそのまま作品の魅力だということも、わかっていたらいいと思います。(訳者のあとがきより)

Illustration©Iou Kuroda 2015

『北風のうしろの国』  
ジョージ・マクドナルド作／脇明子訳

読者は、ティウリの体験をどきどきしながら追体験しつつ、いつのまにか、長い物語を読み終えたことに気づかされるのです。(訳者のあとがきより)

『王への手紙』  
トンケ・ドラフト作／西村由美訳